

別表3 . データ及び資料一覧表 (順不同) 平成20年度

(注: 下記の項目で、共同利用経費を必要としない利用の場合は、直接担当教員にお申し込み下さい)

地震研究所の「公開データベース」<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/database-j.html> もご参照下さい。

共同利用コード及び名称	担当教員(責任者)	利用条件等	申請期限
2008-D-01 WWSSN 地震記象マイクロフィルム/フィッシュ	古地震・古津波記録委員会 (佐竹健治)	要予約。用紙等については予約時に問い合わせを欲しい。	随時
2008-D-02 歴史地震記象	"	原則としてマイクロフィルムを利用。原記録は職員立ち合いのもとで利用すること。	随時
2008-D-03 旧測候所報告・古新聞切抜き・国際地震観測報告等	"	プレハブ資料室でコピー可。	随時
2008-D-04 地震地殻変動観測センター地震データ	地震地殻変動観測センター長(金沢敏彦)	大学間の取り決めに基づいて利用すること。詳しくは担当教員に問い合わせること。	随時
2008-D-05 衛星通信等を用いた全国地震観測システムデータ受信利用	"	「衛星通信地震観測システムデータ受信利用規定」に基づいて申請すること。(様式9)	随時
2008-D-06 国立大学微小地震観測網カタログ(JUNEC)	地震予知情報センター長 (佐竹健治)	震源データは anonymous FTP で利用可。 ftp://ftp.eri.u-tokyo.ac.jp/pub/data/junce/ 検測データは大学間の取り決めに基づいてCDにて提供可。(ただし、担当教員に利用申請を提出のこと) 論文・報告書等には利用した旨を明記すること。	随時
2008-D-07 浅間、伊豆大島、霧島、富士、草津白根の地震を中心とした火山データ	火山噴火予知研究推進センター長(武尾実)	事前に担当教員と打ち合わせること。	随時
2008-D-08 広帯域地震波形データ(1)	海半球研究観測センター長 (歌田久司)	特になし。	随時
2008-D-09 広帯域地震波形データ(2)	鷹野澄	特になし。筑波、白木等(ERIOSフォーマット)	随時
2008-D-10 新 J-array 地震波形データ	地震予知情報センター長 (佐竹健治)	ホームページから利用可。 http://jarray.eri.u-tokyo.ac.jp/ 論文・報告書等には利用した旨を明記すること。	随時
2008-D-11 1993 年日光周辺域合同地震観測データ	平田直	1993 年合同観測参加者。	随時
2008-D-12 強震記録(主として駿河湾、伊豆半島観測網、足柄観測網のデータ)	纈纈一起	1.論文、報告書等に利用した旨を明記すること。 2.論文、報告書等を送付すること。	随時
2008-D-13 歴史地震の古文書及びその解説文	都司嘉宣	特になし。	随時
2008-D-14 全国 GPS 観測資料	加藤照之	ユーザー登録を要する(担当教員又は場合によっては大学連合で協議の上)。	随時
2008-D-15 地球電磁気データベース	上嶋誠、歌田久司	事前に担当教員と打ち合わせること。論文、報告書等に利用した旨を明記すること。	随時

(別表3のつづき)

2008-D-16 八ヶ岳地球電磁気観測所速報データ	歌田久司、上嶋 誠	事前に担当教員と打ち合わせること。論文、報告書等に利用した旨を明記すること。	随時
2008-D-17 地殻熱流量データセット	山野 誠	特になし。	随時
2008-D-18 1. 江ノ島、田老町及び普代村での津波データ 2. 江ノ島、気仙沼及び田老町での速度計地震データ	都司嘉宣	特になし。	随時
2008-D-19 日本全国空中写真	島崎邦彦、佐藤比呂志	活断層調査や地震・火山・テクトニクスなどの研究のためであること。職員に申し出て利用すること。	随時
2008-D-20 津波波形画像データ	古地震・古津波記録委員会 (佐竹健治)	地震研の公開データベースの津波波形画像検索システム http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/tsunamidb/ より申請して利用すること。利用資格は地震研究所共同利用に準ずる。	随時